

正 誤 表

「シンプル理学療法学シリーズ 小児理学療法学テキスト（改訂第3版 第1刷・第2刷）」

下記の箇所にご迷惑をいたしました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
14	下から7行目	pulp pinch (11 ヶ月)	pad pinch (11 ヶ月)
27	下から6行目	「6～12歳の誕生日の前日まで」の各年齢グループに分類して、	「6～12歳の誕生日の前日まで」「 <u>12～18歳の誕生日の前日まで</u> 」の各年齢グループに分類して、
	下から4行目	「2～4 (12)歳の誕生日の前日まで」	「2～4歳の誕生日の前日まで」
28	表2-4のタイトル	GMFCSの5つのレベルと2～4 (12)歳の誕生日の前日までの粗大運動能力	GMFCSの5つのレベルと2～4歳の誕生日の前日までの粗大運動能力
	表2-4の「V」の行 上から3行目	[2～12歳の誕生日の前日まで]	[2～ <u>4</u> 歳の誕生日の前日まで]
	最下行	生後18 ヶ月～12歳までである。	生後18 ヶ月～ <u>18</u> 歳までである。
47	下から3行目	文末で改行し、以下を追加 ■保護伸展反応は、転倒から身を守り、姿勢の安定と保護に関与する。	
48	㊦ 脊髄レベル a. 探索 (四方) 反射 rooting reflex b. 吸啜反射 sucking reflex	51頁～「㊧ 脳幹レベル」内に移動 (項目 a, b として挿入)	
56	㊨ 皮質レベル b. 保護伸展反応 protective extension reaction (パラシュート反応 parachute reaction)	53頁～「㊩ 中脳レベル」内に移動 (項目 f として挿入)	
64	表5-1 姿勢反射の異常と運動発達障害の関係 (つづき)	<u>緊張性迷路反射</u> (STNR)	<u>対称性緊張性頸反射</u> (STNR)
68	上から3行目	～立位姿勢は、甲帯を内転して～	～立位姿勢は、 <u>肩</u> 甲帯を内転して～
74	memo内、上から3, 4, 5行目	出生児体重	出生 <u>時</u> 体重

80	上から 20 行目	発生・構音障害,	発声・構音障害,
100	下から 1 行目	座骨や上肢～	坐骨や上肢～
105	「機能的スキル」 および「介助者による援助の表	Row Score	<u>raw score</u>
106	memo 内 上から 4 行目	Row Score	<u>raw score</u>
112	図 8-6 タイトル, 上から 3 行目	marmeid	<u>mermaid</u>
114	下から 15～14 行目	改訂日本版デンバー式発達スクリーニング検査 (JDDST-R) や	DENVER II (デンバー発達判定法) や
117	上から 20 行目	上肢での指示が不足する場合は,	上肢での <u>支持</u> が不足する場合は,
119	下から 12 行目	筋量の増強が必要とされる.	<u>筋力</u> の増強が必要とされる.
123	上から 10 行目	脳質の変形を認め	<u>脳室</u> の変形を認め
124	図 8-14 (図説)	脳質の変形が	<u>脳室</u> の変形が
191	図 13-1 a 臨床象の耐用性・進行速度	緩徐なもの デュシェンヌ型筋ジストロフィーなど 急速なもの 顔面肩甲上腕型筋ジストロフィーなど	緩徐なもの <u>顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー</u> など 急速なもの <u>デュシェンヌ型筋ジストロフィー</u> など
197	表 13-3 「5」の行	肘関節 90°以上肩屈する	肘関節 90°以上 <u>屈曲</u> する
226	図 15-2 (左側の囲み)	披裂咽頭蓋ひだ軟化症	<u>披裂喉頭軟化症</u>
	下から 2 行目	披裂咽頭蓋ひだ軟化症は～	<u>披裂喉頭軟化症</u> は～
288	下から 7 行目	被裂部の～	<u>披裂部</u> の～
279	学習到達度自己評価問題の解答, 第 4 章	5・○	5・× : モロー反射が消失 (消退) していなければ <u>ならない.</u>
		9・× : STNR が消失していなければならない.	9・× : STNR が消失 (<u>消退</u>) していなければならない.

